

# 地域で保健医療職が災害支援活動 に取り組むしくみづくり

日時

2025年 3月 6日(木)  
18:00~20:00

場所

保健学研究科 ミレニアムホール  
(新棟2階)



[https://teams.microsoft.com/join/19%3ameeting\\_NzgzNDVhMDItYmM1Zi00YTcyLWFjM2UtYWJjZjgwOTQxM2Zh%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%222f488105-e155-49c1-8230-67632b91b303%22%2c%220id%22%3a%22ed241bfc-9e37-4b3e-8941-6550521606a9%22%7d](https://teams.microsoft.com/join/19%3ameeting_NzgzNDVhMDItYmM1Zi00YTcyLWFjM2UtYWJjZjgwOTQxM2Zh%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%222f488105-e155-49c1-8230-67632b91b303%22%2c%220id%22%3a%22ed241bfc-9e37-4b3e-8941-6550521606a9%22%7d)

演者

山田 覚 先生

高知県立大学大学院 共同災害看護学専攻(DNGL)  
特任教授

石川先生から一言:

共創の場PJが始まった時、まず私の頭に浮かんだのが「皆で山田覚先生のお話を伺いたい(ぜひ皆にも聞いてほしい)」でした。

山田覚先生は、工学出身ながら看護管理学・災害看護学の道に進まれました。東日本大震災時には日本災害看護学会理事長として災害支援活動を主導し、また、大学の立場からのコーディネートにより、高知県内での県および県下全市町村と県看護協会の災害看護協力協定締結を実現されました。

今回の講演では、山田先生の豊富な教育・研究・地域貢献のご経験をもとに、災害/防災活動における産官学(+民)の連携や、災害リスクコミュニケーションの効果的な確立方法について、貴重なお話を伺えることと思います。工学と看護(医療保健分野)との学際的アプローチやマネジメントについても理解を深める機会になるとと思います。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、共に学びを深めましょう!

お問い合わせ

三井真一(保健学研究科 リハビリテーション学) 内線8950

大山良雄(保健学研究科 看護学) 内線8932

小林 匠(保健学研究科 リハビリテーション学) 内線8972

多胡憲治(保健学研究科 生体情報検査科学) 内線8935

他学科からの参加者のご紹介は、[ktago@gunma-u.ac.jp](mailto:ktago@gunma-u.ac.jp) までお願いします。